

# おおたま

2021

No. 122

令和3年8月発行



### 親子ふれあい屋内運動場開放

未就学児のお子さんとお母さんが屋内運動場で遊びました。親子ふれあい屋内運動場開放は、月1回で平日の午前9時から12時です。次の開放日の予定は9月です。防災行政無線でお知らせします。

**6月定例会開催**…………… P2～4

今年度の国民健康保険税は？  
意見書3件を提出

**一般質問** ここが聞きたい！7人の議員が登壇…………… P5～11  
目指せ！！健康長寿日本一おおたま…………… P12



大玉村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

# 保険税は

1人当たり  
平均課税額  
9万8,211円  
(6.2%減)

1世帯当たり  
平均課税額  
15万1,649円  
(7.2%減)

# 6月定例会開催

6月定例会は、15日から18日までの4日間の会期で開かれました。内容は、村長提出案件12件(専決処分3件、条例改正2件、補正予算3件、工事請負変更契約案件1件、人事案件1件、報告2件)および議員発議3件、合わせて15件が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。なお、陳情は2件提出され、審査の結果は3ページのとおりでです。

6月定例会は国保議会ともいわれませんが、今年度は国民健康保険税条例の改正が提案されませんでしたので、国保税按分率は前年度同様になりました。

国民健康保険税は、その年度に予測される医療費から国保加入者が病院に支払う一部負担金や国の補助金などを差し引いた分が国保税の必要額となり、国保加入者に負担していただくものです。平成30年度に財政運営主体が市町村から県へ移行されましたが、按分率等は従来どおり村で算定しています。

国保に加入しているのは、主に個人事業者(営業・農業)、非正規労働者や年金で生活している方々です。コロナ禍により収入が大きく落ち込んでいる方も多いことから、1人当たり・1世帯当たり平均課税額は前年度と比較して減となりました。

今年度の国保税の必要税額は約2億円ですが、国保加入者の皆さんが負担する国保税額を約1億3千9百万円とし、不足分には国民健康保険財政調整基金から当初予算で1千5百万円、6月補正で1千万円を繰り入れ、前年度繰越金3千6百万円を合わせて6千1百万円が充当されています。

## 令和3年度 国民健康保険税按分率

項 目		令和3年度	令和2年度	比 較	
応 能	所 得 割	医療給付費	6.60%	6.60%	(据え置き)
		後期高齢者支援金	2.57%	2.57%	(据え置き)
		介護納付金	2.14%	2.14%	(据え置き)
応 益	均 等 割 (加入者1人当たり)	医療給付費	22,600円	22,600円	(据え置き)
		後期高齢者支援金	8,800円	8,800円	(据え置き)
		介護納付金	10,500円	10,500円	(据え置き)
	平 等 割 (1世帯当たり)	医療給付費	19,600円	19,600円	(据え置き)
		後期高齢者支援金	7,700円	7,700円	(据え置き)
		介護納付金	6,500円	6,500円	(据え置き)

項 目		令和3年度	令和2年度	比 較
賦課限度額 (税の上限額)	医療給付費	63万円	63万円	(据え置き)
	後期高齢者支援金	19万円	19万円	(据え置き)
	介護納付金	17万円	17万円	(据え置き)

# 今年度の国民健康

## 令和3年度 6月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	1億2,144万円	47億2,183万円
国民健康保険特別会計	526万円	9億17万円
土地取得特別会計	14万円	1,975万円

※議案第37号令和3年度大玉村一般会計補正予算4月①の専決処分  
1億1,128万円  
議案第38号令和3年度大玉村一般会計補正予算4月②の専決処分  
1,265万円

### 一般会計【歳出 主なもの】

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 744万円
- 令和3年福島県沖地震被災住宅修理支援事業 1,386万円
- 有害鳥獣被害防止柵整備補助金 250万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金事業 995万円

## 6月定例会 議決結果

議案番号	議案名	結果
議案第36号	大玉村税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第37号	令和3年度大玉村一般会計補正予算4月①の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第38号	令和3年度大玉村一般会計補正予算4月②の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第39号	大玉村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第40号	平成23年東日本大震災による被災者に対する村民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第41号	令和3年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第42号	令和3年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第43号	令和3年度大玉村土地取得特別会計補正予算について	原案可決
議案第44号	令和2年度宮下・高久線（外）道路改良舗装工事請負変更契約について	原案可決
議案第45号	区長代理の委嘱について	同意
議員発議第3号	地方財政の充実・強化に関する意見書について	原案可決
議員発議第4号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書について	原案可決
議員発議第5号	東京電力福島第一原子力発電所汚染水の海洋放出方針決定に反対する意見書について	原案可決

## 6月定例会に提出された陳情

件名	提出者	付託委員会	審査結果
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	総務文教	採 択
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	福島市上浜町 福島県教職員組合 中央執行委員長 國分 俊樹 ほか1名	総務文教	採 択



## 議員発議 意見書3件を提出

### 地方財政の充実・強化に関する意見書

**提出先** 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長、内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

### 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

**提出先** 復興大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣

### 東京電力福島第一原子力発電所汚染水の海洋放出方針決定に反対する意見書

**提出先** 内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、復興大臣、農林水産大臣



6月定例会では、6月17日に6人、18日に1人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に5ページから11ページです。

わたなべ けいこ <b>渡邊 啓子</b>	1. 交通事故防止対策の強化を求める 2. 児童生徒の登下校時の安全対策は	5ページ
おしやま よしのり <b>押山 義則</b>	1. コロナ禍が振興計画等にもたらす影響は	6ページ
すどう ぐんぞう <b>須藤 軍蔵</b>	1. 古戦場に案内板の設置を 2. 鳥獣被害対策事業手順の「明確化」を	7ページ
たけだ えつこ <b>武田 悦子</b>	1. ジェンダー平等を進めるために必要なことは 2. コロナ禍で今後も必要なことは何か	8ページ
さわら さゆり <b>佐原佐百合</b>	1. 住民参加で住民交流施設の設置計画を 2. 大玉村農村公園とふれあい村民の森の整備予定は	9ページ
すずき やすひろ <b>鈴木 康広</b>	1. コロナ感染対策とワクチン接種について 2. ICTの活用で教育環境の充実を	10ページ
きくち あつのり <b>菊地 厚徳</b>	1. 「わが心のふるさと」となるための実践とは 2. 学校給食の食材を有機栽培米にしよう	11ページ

※一般質問…議員が村行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずること。大玉村議会の一般質問は一人30分以内で、答弁時間は含まない。

## 一般質問

ここが聞きたい！  
7人の議員が登壇



# 交通事故防止対策の強化を求める

## 質問趣旨

朝夕の通勤通学時間帯に交通量が多く危険な箇所がある。さらなる交通事故防止に取り組んでいく必要がある。

**渡邊** 昨年の村内の交通事故発生件数と要因を伺う。

**住民福祉部長** 人身事故が21件、うち15件は国道で発生している。主に交差点や交差点付近での出会い頭の衝突や追突事故である。左右の確認不足や漫然運転が主な要因となっている。

**渡邊** 交通事故防止のために行っている対策は。  
**住民福祉部長** カーブミラーや区画線、ガードレール等の整備のほか、高齢者の運転免許証自主返納の支援、交通安全専門員による園児や児童への交通指導、交通安全協会や交通安全母の会等の団体による交通事故防止

の啓発活動を行っている。  
**渡邊** 大玉中学校近くの東二合目地内交差点で

交通事故が発生しやすい。見通しが悪く、止まれの路面標示も消えかけている。朝夕は交通量が多く、自転車通学の中学生も通る。早急に一時停止の標識設置などがないか。

**産業建設部長** この交差点は、村通学路安全推進会議において大玉中からの要望により現地確認調査を行い、対策として注意喚起のためのカラー塗装工事を発注している。一時停止の規制は県の公安委員会であり、今後も要望していきたい。



見通しが悪く注意が必要な交差点

# 児童生徒の登下校時の安全対策は

## 質問趣旨

本村が目指す「みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ大玉の教育」のためにできることは何か。

**渡邊** 登下校時の見守り活動などの現状を伺う。

**住民福祉部長** 一部の行政区や老人クラブを中心とした見守り隊や交通安全専門員による見守り、交通安全期間には交通関係団体やPTAによる登校時の見守りが行われている。

**渡邊** 児童が一人で歩いて下校するのを心配する保護者がいる。防災行政無線で子どもたちの見守りを呼びかけ、農作業中の方にも気に掛けてもらえれば助かるとの声がある。下校時に児童の安全を見守るための村内放送ができないか。

**教育部長** 大玉12区では地域からの要請により低学年の下校時に放送をしている。子どもたちの安心・安全のために村内全域の放送実施に向け

て検討していきたい。

**渡邊** 冬場は日没が早く、中学生や高校生の下校時間帯にはすでに暗い。防犯灯が少ない箇所が村内あちこちに見受けられる。防犯灯設置要望数に対して予算が少ないのではないか。補正予算で工事費を増額し、通学路の安全を確保すべきで

はないか。

**村長** 村全体はなかなか難しいが、集落のあるところや周りが林などで怖いところには、できるだけ早く設置をしたい。すぐに全部というわけにはいかないが、多く設置できるように補正予算も含めて検討したい。



子どもたちの安全をみんなで見守るために



# コロナ禍が振興計画等にもたらす影響は

## 質問趣旨

再選を期する村長に大玉村の将来展望と重点施策の内容を伺う。



拡張が予定されているさくら公園

**押し山** 大規模災害や感染症等に対するリスクマネジメントについて具体的対応を伺う。

**村長** 10年前の東日本大震災から大規模災害が続いている。災害から学びリスクマネジメントを第一義と考え、総合振興計画の中にしつかり位置づけている。防災計画や業務継続計画、感染症に関する行動計画も改訂しているが、直面する問題に

応できるようにしていきたい。

**押し山** ワクチン接種が市町村で行われているが大玉村が無医村である現実をどう捉えているか。

**村長** 今回のワクチン接種は安達医師会の協力のもとに安達管内2市1村で取り組んでいるため、無医村であるというハンデは一切ない。診療所の誘致を諦めたわけではなく、総合的に考え、村で大きな負担をしない医療機関を設置する努

力を続けていきたい。

**押し山** 横堀平仮設住宅跡地の再エネ・アグリパーク構想が示された。施策に向けての意欲を伺う。

**村長** SDGsや農福連携を基にプロジェクトチームで考えた構想を実現するために国の支援を求め大きなプロジェクトとして全庁を挙げて取り組んでいきたい。

**押し山** 商工業の復興・創生の観点から玉井地区にコンビニエンスストアの誘致に向けた条件整備を願うが、村の考えは。

**村長** 県道と田んぼ通りの交差点にこれまで打診はあったが、守るべき土地の保全を優先し、村の方針を堅持して応じられない。

たいと考えている。

**押し山** さくら公園拡張事業計画の内容を伺う。

**村長** 村の花である桜を村内外に示すためにも桜をテーマにした公園は必要である。小学生が水生生物の調査ができるなど総合的な公園を検討している。

**押し山** 住民交流施設、子育て支援センター建設が計画されている。早期完成と文化施設を兼ね備えた整備計画の考えを伺う。

**村長** 大山公民館の老朽化により、大山地区に子育て支援センターを併設した住民交流施設を考えている。検討組織において今年1年かけて内容の検討をしていきたい。有利な補助を見つけたら力をしながら進めていきたい。

**押し山** (仮称) 山麓交流センター設置補助事業について、目的に合致した道路や駐車場の整備が必要ではないか。

**村長** アクセス道路と駐車場の整備について考えたが、整備を併せて行うと建築に時間がかかる。建てることを優先し



補助事業で改築される婦人ホーム

須藤軍蔵議員



# 古戦場に案内板の設置を

## 質問趣旨

大玉の歴史を後世につなぐ一環としての取り組みを求める。

**須藤** 戊辰戦争では山入（手志子森）の戦いが繰り広げられた。古戦場の場所と戦いの概要を説明する案内板を設置できないか。

**教育部長** 手志子森古戦場は、遺構の存在が確認できておらず、明確な範囲を確認することが困難であり、案内板の設置は検討を重ねる必要がある。案内板に代えて、村指定史跡の戦死三十一人墓にリーフレット置場を設置し、村内の戊辰戦争に関する情報提供を行っていききたい。また、村のホームページに手志子森



後世に伝えていくべき山入（手志子森）の戦い

の古戦場の情報を追記していきたい。 **須藤** 戊辰戦争の関連で、玉泉寺や玉井字江田地内、大山字草津川地内に墓所がある。これらについても案内方法を検討できないか。

**教育部長** 村文化財保護審議委員や村文化財調査委員の協力を得ながら、さらに資料を集めて大玉村における戊辰戦争について調査をし、「大玉村の戊辰戦争（仮称）」として記録に残し、多くの方々に知っていただくよう計画していききたい。

**須藤** イノシシ等の出入りは地域の方々が一番良く知っている。電柵の設置と併せて個体数を減らすために、これらに携わる方を例えば一行政区3人以上にするなど取り組みの強化が必要ではないか。



農作物を鳥獣被害から守るための電気柵

**須藤** 鳥獣被害の通報は誰が村にするのか。実施の手順がちぐはぐな点が多い。住民も実施隊もすぐに分かる手順を同う。 **産業建設部長** 被害を受けた方が役場産業課に連絡すると、役場では実施隊の隊長に連絡し、班を編成し実施に移している。実施隊員の間で認識のずれがないように再度協議し、連絡体制、報告体制、実施方法などの作業手順を明確にし、共有していききたい。

**須藤** 鳥獣被害の通報は誰が村にするのか。実施の手順がちぐはぐな点が多い。住民も実施隊もすぐに分かる手順を同う。 **産業建設部長** 被害を受けた方が役場産業課に連絡すると、役場では実施隊の隊長に連絡し、班を編成し実施に移している。実施隊員の間で認識のずれがないように再度協議し、連絡体制、報告体制、実施方法などの作業手順を明確にし、共有していききたい。

体制の充実を図っていききたい。わな猟資格取得に係る経費を全額助成し、免許を取得いただいているが、わなを仕掛けても銃猟免許とライフル銃を持つていなければ仕留められない。猟銃の免許取得や購入の補助もしているので、ぜひ銃猟免許を取得していただけるように進めていききたい。

# 鳥獣被害対策事業手順の「明確化」を

## 質問趣旨

活動が迅速化し、事業の安全でより実効を高めるための方策を求める

# ジェンダー平等を進めるために必要なことは

質問趣旨

社会的・文化的につくられる性別を指すジェンダーだが、ジェンダー平等を進めるためにできることは何か。



SDGsの持続可能な開発目標

**5** ジェンダー平等を  
実現しよう



**武田** コロナ禍で女性の貧困、生理の貧困が大きな問題になっている。これは大人だけの問題で

はなく、子どもにとっても大きな問題となっている。子どもたちが安心して生活できる手段として、学校のトイレに誰でもいつでも使えるように生理用品を配置すべきではないか。

ともに、各種審議会、委員会での女性の選任に関する制度を設ける。また、LGBT、性的少数者に対する理解の促進や、不妊治療に対する支援、さらに、妊娠期や産後まで切れ目のない支援を行い、出産後も働き続けられる環境づくり等を目標に掲げている。

**教育長** 小中学校の保健室には生理用品や着替えなどが準備されている。生理用品をトイレに置くことで問題の全てが解消されるわけではない。子どもたちと対面しながら問題を解決するのが教育的に意味のあることだと思ふ。子どもたちが気軽に保健室で相談し、必要な時には備えてあるものを使い、これまでのようにこの問題に向きあっていきたい。



武田悦子議員

**武田** ジェンダー平等を進めるために、大玉村総合振興計画ではどのような目標を掲げているのか伺う。

**総務部長** 男女共同参画に関する啓発や教育を推進すると

**武田** 新型コロナワクチン接種の予約には村職員の支援が大きな役割を果たしてきた。今後のワクチン接種の見直し、支援について伺う。

**住民福祉部長** 65歳以上の予約はスムーズに進んでいる。64歳以下の予約も年齢で段階的に行っていきたい。12歳以上の子どもの接種は安達管内で協議を進めていきたい。また、64歳以下の予約についても村で支援していきたい。

**武田** 発達段階や活動場面に応じて教職員が判断し、適切に対応している。

**武田** コロナ禍でSNSを活用した活動が広がっている。村内公共施設でどこでも使えるように環境を整備すべきではないか。

コロナ禍で今後必要なのは何か  
質問趣旨  
コロナ感染の収束がなかなか見えずに、今後さまざまな支援が求められる。

**村長** マスクの供給は足りていると思うが、効果のないマスクも多い。効果の高い夏用マスクを配付する方向で検討したい。

**総務部長** ふれあいセンターにはWiFiは設置されていないが、今後は光回線を利用した家庭用ルーターなどの環境整備を検討していく。



子どもたちに配付された夏用マスク

佐原佐百合議員



# 住民参加で住民交流施設の設置計画を

## 質問趣旨

計画段階から住民の声を聞くことが必要だと考える。



住民交流施設の建設予定地（大山字谷地）

**佐原** 大山地区に公民館代替施設と子育て支援センターの機能を持った住民交流施設の設置が計画されている。住民は施設の早期完成を望んでいる。子どもが遊べる室内の遊び場が欲しいという意見もある。完成までの予定と室内の遊び場を設置する予定はあるか伺う。

**総務部長**

今年度に職員による検討組織を立ち上げる。この組織で住民の声を聞く手法や助成金・補助金等の特定財源、建設内容等の検討を行う。条件整備が整えば、早ければ令和5年度

に建設に着手したいと考えている。室内の遊び場は、規模の大きさはまだ決まっていないが、設置することは念頭に置いている。

**佐原**

施設を利用する住民の声を反映する手法として、近隣自治体のように、計画段階から住民ワークショップを開催してはどうか。

**総務部長**

ワークショップは大変効果の見える手法である。検討組織で十分に議論し方向性を見出したうえで進めていきたい。

# 大玉村農村公園とふれあい村民の森の整備予定は

## 質問趣旨

大玉村の豊かな自然を活用した既存の公園の整備を望む。

**佐原** 大玉村農村公園の利用と維持管理の状況は。

**産業建設部長**

新田、上ノ台、定場、南小屋の4つの農村公園がある。整備当時に比べ、利用は減少している。新田と上ノ台の農村公園は、地元

の行政区と委託契約を締結し維持管理をお願いしている。定場と南小屋は、村で管理している。

**佐原**

令和元年に上ノ台公園と南小屋公園の老朽化した遊具が撤去された。再度設置できない理由を伺う。

**産業建設部長**

遊具を設置しない理由は特段ないので、地元の意向や要望等を聞き、財源も考慮しながら検討をしていきたい。

**佐原**

ふれあい村民の森は自然が豊かでとてもよい公園であると利用者

から聞く。村内外から来る人にも分かりやすい案内板の設置や情報提供ができないか伺う。

**産業建設部長**

案内表示の充実やホームページでの紹介を進めていきたい。

**佐原**

2019年に役場若手職員のプロジェク

トチームがふれあい村民の森の活用について報告

**産業建設部長**

設置から約20年が経過し、再整備の検討が必要な時期に

来ている。実現可能な内容を検証し、補助事業等も含め協議し、検討を進めていきたい。



整備が待たれるふれあい村民の森

# コロナ感染対策とワクチン接種について

## 質問趣旨

村民の安全確保のために、教職員などがワクチン接種を優先的にできるように求める。



毎週日曜日に保健センターで行われている集団接種

**鈴木** 役場、保育所、社会福祉協議会の職員や学校の教職員は、同居家族に感染の恐れがある場合に報告が行われるのか。

**住民福祉部長** 同居者に感染の恐れが疑われる場合は、出勤を控えると同時に職場に状況を報告することになっている。

**鈴木** 児童・生徒の感染源は家庭内感染が主である。児童・生徒の家族に感染があった場合に学校は把握できるのか。

**教育部長** 家庭で感染

があった場合は、速やかに学校や幼稚園に連絡するよう依頼している。教育委員会でも情報を共有し、迅速に対応できる体制を整えている。

**鈴木** 日常的に子どもたちや高齢者と接する仕事をされる方々のワクチン接種を優先することが必要ではないか。

**住民福祉部長** 国が指定する優先順位により接種を行っているが、高齢者や子どもたちと接する職員や教職員、保育士も優先的に接種できるように検討している。

# ICTの活用で教育環境の充実を

## 質問趣旨

ICT環境整備が教職員の多忙化解消と教育環境の充実につながることを求める。

**鈴木** 統合型校務支援システムの活用状況を伺う。

**教育総務課長** 昨年7月に福島県版統合型校務支援システムを導入している。積極的な活用を図りながら教職員の事務負担軽減に努めている。

**鈴木** 教職員が異動後も利用できなければ実用性がないが、県内の導入状況は。

**教育総務課長** 昨年度までに導入したのが19市町村、今年度が17市町村、来年度以降に導入予定が6市町村である。県内の7割の市町村で導入が見込まれている。

**鈴木** 児童・生徒一人一台のタブレットは、現在どのように活用されているか成果と課題を伺う。

**教育長** 成果は、カメラやQRコードの活用をはじめインターネットを

利用した調べ学習などにより、子どもたちのタブレットへの興味や関心が高まっていることである。まだ導入したばかりなので、今後の課題を見つけて検証していく。

**鈴木** ICT支援員はどのような支援をしているのか伺う。

**教育長** ICTを使った授業の支援をしている。先生方や子どもたちにタブレットを使った授業の魅力や効果などのアドバイスや働きかけをしている。



ICT支援員から学ぶ社会の授業（玉井小）



# 「わが心のふるさと」 となるための実践とは

## 質問趣旨

3月に「おおたま学」が発刊された。村を理解し、村に誇りと愛着を持ってもらうために、今できることは何か。

**菊地** 「おおたま学」の村長あいさつにあるように「みんなが村を理解し、愛着を持ってもらう」には、何を実践することが必要か伺う。

**村長** 村をまず理解いただき、「みんなを支えみんなでつくる大玉村」を実践していただくことである。

**菊地** これまでの村史編さんと比べて今回の「おおたま学」の編集で意識したことは何か伺う。

**教育長** 小学校高学年の児童が読んで分かるように意識して編集した。昭和51年発刊の「大玉村史」は学術的な内容であり、「図説大玉の歴史」は大玉村史をもう少しわかりやすくし、さらに東日本大震災を加えた。「おおたま学」は平成28年度の「大玉村歴史文化基本構想」に基づき作成した。誰にでもわかりやすくするために写真や脚注を多く取り入れ、QRコードからウェブに入り詳しく解説できるようにした。

の児童が読んで分かるように意識して編集した。

昭和51年発刊の「大玉村史」は学術的な内容であり、「図説大玉の歴史」は大玉村史をもう少しわかりやすくし、さらに東日本大震災を加えた。「おおたま学」は平成28年度の「大玉村歴史文化基本構想」に基づき作成した。

誰にでもわかりやすくするために写真や脚注を多く取り入れ、QRコードからウェブに入り詳しく解説できるようにした。

誰にでもわかりやすくするために写真や脚注を多く取り入れ、QRコードからウェブに入り詳しく解説できるようにした。



村の歴史を知る貴重な資料

# 学校給食の食材を有機栽培米にしよう

## 質問趣旨

「第2回コミュニティ広場」では小中学生がこれからの村づくりを提案した。提案の実現を学校給食の食材から考える。

**菊地** 本宮方部学校給食センターの地元食材の使用割合は県平均22・2%を上回る28・5%である。減農薬や減化学肥料の食材が選ばれることはあるのか伺う。

**教育部長** 減農薬、減化学肥料のいわゆる特別栽培農産物は、一定数量を安定して調達することができない。

**菊地** 千葉県いすみ市では地元の有機農家から学校給食米を調達する目標を作り、4年で100%有機米になった成功例がある。有機栽培米を給食で使用することは、SDGsや環境に配慮するだけでなく、小中学生の提案のように地元の農家が育ち、土作りや健康に関する認識も高まると考えるが、考えを伺う。

**村長** 給食の飯米は、大玉村だけならば約1千

食だが、本宮市との共同調理で約4千食を上回る。これを有機栽培米で調達するのは現実的には不可能である。子どもたちには地元のを食べてもらうことが重要であると考えているが、有機栽培を否定しているわけではない。

食だが、本宮市との共同調理で約4千食を上回る。これを有機栽培米で調達するのは現実的には不可能である。子どもたちには地元のを食べてもらうことが重要であると考えているが、有機栽培を否定しているわけではない。

食だが、本宮市との共同調理で約4千食を上回る。これを有機栽培米で調達するのは現実的には不可能である。子どもたちには地元のを食べてもらうことが重要であると考えているが、有機栽培を否定しているわけではない。

食だが、本宮市との共同調理で約4千食を上回る。これを有機栽培米で調達するのは現実的には不可能である。子どもたちには地元のを食べてもらうことが重要であると考えているが、有機栽培を否定しているわけではない。

食だが、本宮市との共同調理で約4千食を上回る。これを有機栽培米で調達するのは現実的には不可能である。子どもたちには地元のを食べてもらうことが重要であると考えているが、有機栽培を否定しているわけではない。

食だが、本宮市との共同調理で約4千食を上回る。これを有機栽培米で調達するのは現実的には不可能である。子どもたちには地元のを食べてもらうことが重要であると考えているが、有機栽培を否定しているわけではない。



第2回コミュニティ広場で村づくりを提案する中学生

# 目指せ!! 健康長寿日本一おおたま

「大玉村赤十字奉仕団」の役員の皆さんに「健康長寿」のために実践していることを伺いました。



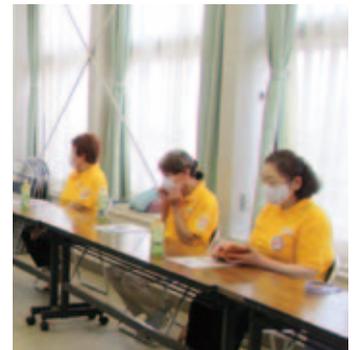
大玉村赤十字奉仕団の皆さん

大玉村赤十字奉仕団の皆さんは、村へのタオ  
ル寄付や献血の協力の呼びかけなどの活動を続  
けています。老人福祉施設の夏祭りボランティ  
アや一人暮らし高齢者の方々との芋煮会などの  
活動は、コロナ禍で昨年からできなくなってい  
ました。活動の機会は減っていますが、集  
まれば話に花が咲き、いろいろな情報を交換し  
ています。漬物の作り方や炊飯器で作る料理な  
ど、教えてもらったことはすぐ実践する皆さん  
です。活動で得た知識を私生活でも活用してい  
ます。今後は、救急救命の講習会など日赤らし  
い活動も続けたいと意欲的です。一緒に活動し  
てくださる方を募集中ですと笑顔でインタ  
ビューに答えてくださいました。



**渡辺千恵子さん** 常に万歩計  
を持っていきます。忘れたと気づ  
いたらすぐ取りに戻ります。朝  
のキウウリ収穫だけで4千歩に  
なるので、一日平均1万歩くら  
いは歩いています。

**佐藤奈都代さん** フラダンス



**健康のために心掛けてい  
ることは？**

**鈴木華子さん** 免疫力を高め  
るために、食事に注意し笑うこ  
とを心掛けています。医療費  
はもちろんです。病院に行く  
時間ももつたいたないです。から  
ね。



献血の協力をお願いをする  
赤十字奉仕団

**西村信子さん** 農作業をして  
いるのでこれからの季節は麦茶  
に塩を入れて飲むようにして  
います。最近体重が減ってきた  
ので、一気に体重が減るとすこ  
く疲れるので注意しています。

**武田ひとみさん** ストレス発  
散とリラクセスのために太極拳  
をしています。ゆつくり動く  
と代謝がよくなり、体幹も鍛え  
られます。

**武田ミナ子さん** 食べる順番  
に気をつけています。野菜から  
よく噛んで食べるようにしてい  
ます。旬のものを食べることに  
漬物はなるべく薄味にするな  
どに気をつけています。

をしています。この頃休んで  
います。そのためか少し足がふ  
らつくことがあります。体を動  
かすことは大切ですね。最近  
は、テレビで見た「かんたん酢」  
と「ごま油」をいろんなものに  
かけて食べています。体にいい  
みたいです。

## 編集後記

新型コロナウイルスの  
接種が始まり2カ月経  
ち、当初生じていた接種  
体制の問題も改善され、  
接種を完了した方も増え  
てきました。ワクチンの  
最も高い効果が得られる  
までには、2回目の接種  
から7日程度かかるとい  
うことなので、接種後も  
油断せずに感染予防に努  
めましょう。

今後、少しずつでも感  
染状況が改善され、以前  
の活気あふれる日常に戻っ  
てくることを願います。

議会だよりが、住民の  
皆さまにとって村政への  
関心を高め日々の生活に  
も役立つ広報となるよう  
努めていきます。

(斎藤 信一)

## 議会広報編集特別委員会

- 委員長 ● 佐原百合
- 副委員長 ● 斎藤信一
- 委員 ● 渡邊啓子
- 委員 ● 菊地厚徳
- 委員 ● 武田悦子
- 委員 ● 押山義則